

令和 6 年度

議会報告会

アンケート集計結果報告書

及び報告会に寄せられた意見等のまとめ



～目 次～

1. アンケート集計結果

問 1	年齢		1
問 2	性別		1
問 3	議会報告会参加のきっかけは。		1
問 4	今回の議会報告会をどのようにお感じになりましたか。		
(1)	開催時期		2
(2)	時間帯		2
(3)	開催場所		2
(4)	運営全体を通して		2
問 5	次回の報告会には、どのような内容を希望しますか。		3
問 6	その他、本日の感想や議会に対するご意見、ご提言を ご記入ください。		3

2. 意見交換会（テーマ別）に寄せられた意見・感想・ 要望等

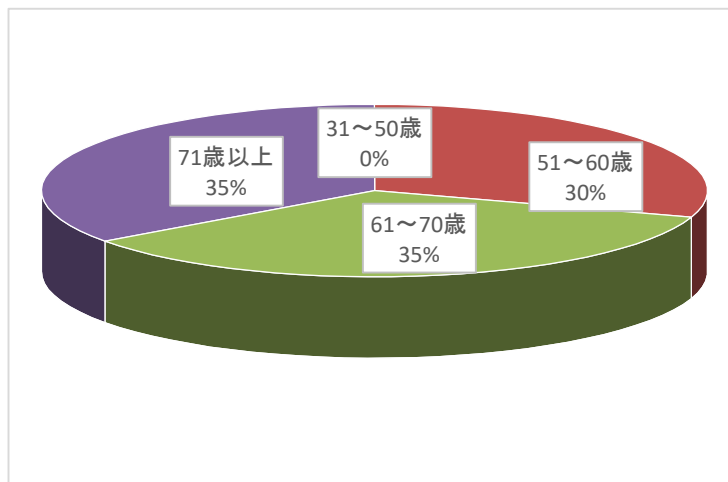
(1)	テーマ：公共交通（2月9日）		5
(2)	テーマ：笠岡市の土地利用及び施設の今後の考え方 (2月9日)		7

1. アンケート集計結果

参加者25人（公共交通12人，笠岡市の土地利用及び施設の今後の考え方13人）のうち
回答者20人

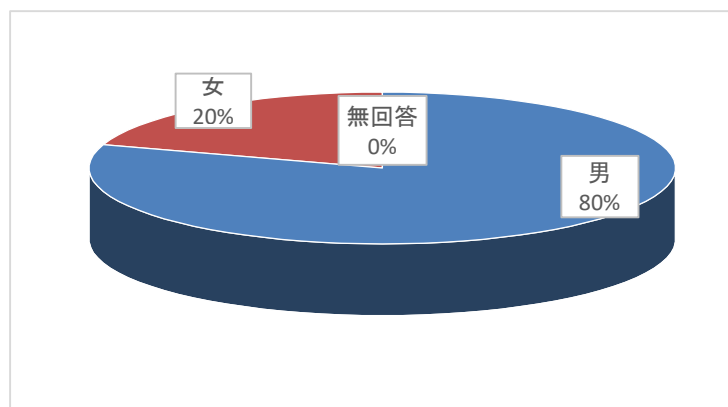
問1 年齢

区分	人数(人)
30歳以下	0
31～50歳	0
51～60歳	6
61～70歳	7
71歳以上	7
無回答	0
合計	20



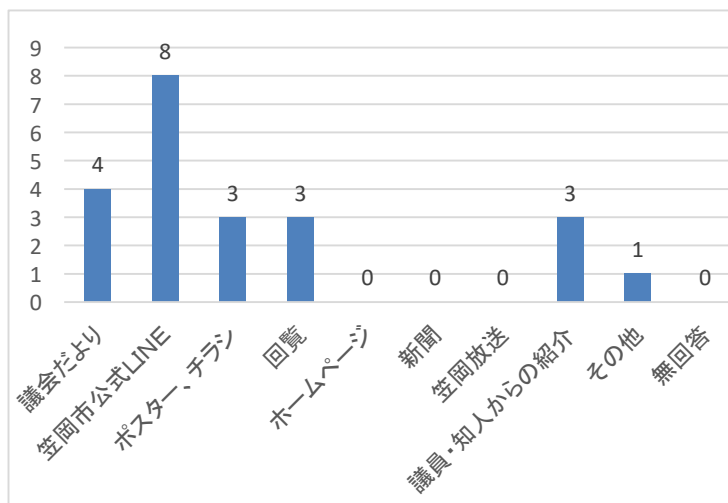
問2 性別

区分	人数(人)
男	16
女	4
無回答	0
合計	20



問3 議会報告会参加のきっかけは。（複数回答あり）

区分	人数(人)
議会だより	4
笠岡市公式LINE	8
ポスター、チラシ	3
回覧	3
ホームページ	0
新聞	0
笠岡放送	0
議員・知人からの紹介	3
その他	1
無回答	0
合計	22



問4 今回の議会報告会の感想をお聞かせください。

(1) 開催時期

区分	人数(人)
良い	13
悪い	2
どちらともいえない	5
無回答	0
合計	20

(2) 時間帯

区分	人数(人)
良い	17
悪い	1
どちらともいえない	2
無回答	0
合計	20

(3) 開催場所

区分	人数(人)
良い	16
悪い	1
どちらともいえない	3
無回答	0
合計	20

(4) 運営全体を通して

区分	人数(人)
良い	11
悪い	4
どちらともいえない	5
無回答	0
合計	20

主な意見・感想

(1) 開催時期

- ・今回は別のイベントと同じ日時でまずかった。
- ・開催日が寒かったので別の月がよいと思った。いつ頃がよいかはわからない。

(2) 時間帯

- ・今回は良かった。
- ・この時間帯が出席しやすい。
- ・午前中。

(3) 開催場所

- ・少人数だったので、会場はもう少し小規模なところが良かったと思います。

(4) 運営全体を通して

- ・参加人数が適当。
- ・1班、2班と分けなくて、合同で行ってほしい。
- ・項目ごとに協議をした方が、意見集約しやすく、深掘りもできたのではないかと思います。
- ・議題が絞れていないので、進行が「質疑応答」のような形になり、話の内容がまとまっていかなかった。公共交通は地域によって条件が違うので、いくつかの要望パターンで集約して問題点を分けた上で、その中から共通する問題と解決案を絞った方がよいと思います。
- ・笠岡市の他の行事とできれば重ならない日程が良かった。

問5 次回の議会報告会には、どのような内容を希望しますか。

- ・ビジョンを見せてほしい。
- ・公共交通についてさらに深める。
- ・福祉に関わっていたので、そののところに興味あります。災害についても関心があります。
- ・定住推進、人口増、産業旺盛。
- ・笠岡の財政について。
- ・進行具合を個別に報告してほしい。
- ・年間回数を増やしては？
- ・事前に具体的テーマも有れば良い。
- ・魅力ある街づくりと思いますが、その中で議員さんが喫緊の課題と感じていること。
- ・具体的にいくつかの可能性のある提案や他の自治体の活動例を提示して検討すると良いと思います。
- ・公共交通のラスト1マイルを考えて、免許返納しても不便を感じない状況にしてください。よろしくお願いします。

問6 その他、本日の感想や議会に対するご意見、ご提言等をご記入ください。

- ・初めての参加でしたが、参考になりました。
- ・積極的に推進していただきたい。
- ・昨年4月よりまち協に参加するようになったので、今回始めて参加しました。市議の方の話しあいにより今後が決まるのですね。頑張ってください。
- ・第2回目の報告会をしていただきたい。
- ・笠岡の発展を第一に考えて活動お願いします。
- ・2案件の報告会を聞きたかった。同時刻に分けて開催するのではなく次回は、時間をずらして開催してほしい。
- ・財政が厳しいと言われていますが、最後の方が言われたとおり身を切る改革を考えてほしいと思います。
- ・人数が多くなくて発言できてよかった。
- ・参加人員が少ない。
- ・民間との連携や活力を活かしやすい仕組みをご検討いただきたいと思います。できる協力はいたします。
- ・今回のテーマで市議会はどう思っているか、市議会の意見も必要。
- ・市議の方々は参加人数の少なさに危機感はないのですか？
- ・市民が困っていない今から、本気で考えないと間に合いませんから。よろしくお願いします。

2. 意見交換会（テーマ別）に寄せられた意見・感想・要望等



質問・要望・提言事項記録票

テーマ： 公共交通

2月9日（日） 13:30～

（笠岡市保健センター ギャラクシーホール）

質問・要望・ 提言等の概要	① 昨年、神内地区を対象としたデマンドタクシーの実証実験をしたが、予算と結果はどうなったか。 ② デマンドタクシーを全市で実施してほしい。運転手が足りないのでドライバーの確保に取り組んでほしい。対策をとってほしい。 ③ 市役所内に、交通専任の担当職員が一人しかいない。公共交通は市民の生活に直結している。市としてもっと力を入れて体制（対策チーム）を作してほしい。 ④ 浅口市が実施しているような無料のコミュニティバスを走らせてほしい。 ⑤ 幹線のバス停が遠い、行きは良いが帰りは荷物で大変。 ⑥ 路線バスを見ても空で回っていることが多い。路線バスは必要ないと思う。乗合型のタクシーを広げてほしい。 ⑦ 路線バスよりデマンドタクシーの方が良いと思うが周知の仕方や、利用しやすいシステムづくりをしてほしい。デマンドタクシー・バスについて、市民への啓蒙や説明が行き届いていない。 ⑧ デマンドタクシーを使って行くときは良いが、帰りはどうなるのかイメージし難いので詳しい説明がほしい。現状では使い勝手が悪い。
------------------	--

- ⑨ マイカーを運転している人には分からないことがあると思うので、高齢者や学生等、実際に利用している人を中心に検討会の開催を考えてほしい。アンケートをとる場合も高齢者、学生、障害者などに対し、集中的にとることで魅力化につながるのではないかな。
- ⑩ 公共交通機関は単なる移動手段だけではなく、マイカーにはない魅力を持ち、各利用者にとって魅力的な存在であるべき。赤字を理由に運行を停止するのは短絡的ではないか。公共交通を利用することで、得になること、良いことを考えて訴えてはどうか。
- ⑪ バス、デマンドタクシーなど、公共交通利用の目的別のシミュレーションを具体的に提示するのはどうだろうか。
- ⑫ 交通の空白地区なら施策があるだろうが、不便な定期バスが少しだけ通っているので、交通空白地にならず、かえって損をしている。
- ⑬ ポイントシステム等を導入して利用促進を図るのはどうか。
- ⑭ 足が不自由なので、買物など子供に送迎してもらっている。
- ⑮ 高齢になって運転はやめたいけど、現状では不便になるのでやめられない。
- ⑯ 飛島では、集落支援員がおり、島内の交通で不便に感じることはない。
- ⑰ 公共交通について、様々な意見が聞けてよかった。

質問・要望・提言事項記録票

テーマ： 笠岡市の土地利用及び施設の今後の考え方

2月9日（日） 13:30～

（笠岡市保健センター 研修室（2階））

質問・要望・ 提言等の概要	① JR 笠岡駅南周辺と公営住宅事業は凍結なのか。 ② 国道2号線バイパスの開通は、茂平の交通渋滞緩和に期待されるが、新たな課題も浮上している。 現在、茂平地区は朝夕の時間帯に交通渋滞が激しい。バイパス開通により、倉敷方面からの通勤者はバイパスを利用するようになるが、バイパスを降りた後の道路が一方通行で狭いため、新たな渋滞ポイントとなる懸念がある。特に、茂平グラウンド付近の右折路は、3車線化が必要ではないかと指摘されている。 茂平地区では、通勤者のスピード超過による危険な走行が問題となっており、住民からは通勤者通行禁止の看板を設置しているほどである。バイパス開通によって、この問題がさらに深刻化する可能性がある。 茂平の交通問題を解決するためには、国、県、市の連携による道路整備が不可欠である。特に、右折路の3車線化は、バイパス開通の効果を最大限に引き出すために重要な課題である。 ③ 笠岡市では人口増加に向けた取り組みが盛んに行われているが、人口減少の流れは簡単には変えられないという意見もある。そのため、人口を増やすという視点だけでなく、人口が減っていく中でどのように地域を維持していくかという視点も重要である。 国や県も様々な対策を講じているが、効果が出にくいのが現状である。
--------------------------	---

限られた時間と資金を有効活用するためには、人口減少を前提としたコンパクトな街づくりや、地域の実情に合った持続可能な方法を検討する必要がある。議員には、人口減少という現実を踏まえ、多角的な視点から情報収集を行い、政策を検討することが求められる。

- ④ 笠岡市の発展のためには、必要な事業を止めるべきではない。笠岡駅の開発が停滞し、駅前が寂れている現状は問題だ。

笠岡駅へのアクセス改善計画が凍結されたことは反対だ。利便性向上によって利用客が増える可能性がある。お金がないからと全てを凍結するのではなく、将来的に利益を生むような事業には投資すべきだ。

- ⑤ コンパクトシティ構想が進む中で、駅前の開発が進んでいることは良いことだが、北部の開発も重要であると考えている。笠岡市北部は農業地帯であり、市が作成したマスタープランに沿って開発が進められているが、現在のマスタープランは時代にそぐわないのではないかと。

農業を維持するためには人が必要だが、少子高齢化が進み、空き家が増えている現状では、農業の維持は難しい。マスタープランを見直し、時代の変化に対応した計画にする必要がある。北部の住民の意見を反映し、北部が活性化するような計画策定を推進してほしい。

- ⑥ 笠岡市では財政危機であると言われているが、財政状況は実際には安定している。

笠岡市の財政状況はこうになっている。

実質公債比率は7.5%で健全とされる25%を大きく下回っている。財政力指数は0.57で岡山県下で5位だ。

昨年度決算は約4億円の黒字だった。

財政状況は健全であり、近隣の市町村と比較しても良好な水準である。栗尾市長は、財政状況が健全であるにも関わら

	ず、財政危機であると主張し、市民の不安を煽っている。その結果、一部の事業が凍結されている。 富岡の建替事業について、市の所有地と県の所有地を一体的に活用し新しい市営住宅を建設する計画は、建設費はかかるものの長期的に見ると税収増加が見込める。しかし、財政危機を理由に凍結されている。市長が財源確保の努力を怠っているのではないか。市議会が市長に対して十分な質問や改善を求めているのではないか。 笠岡市の財政状況は健全であり、市長が財政危機を煽ることで市の発展を阻害している。市議会は、市長に対して財源確保の努力を促し、市の発展に貢献するべきである。 ⑦ 耕作放棄地が茂平には3000平米ほどあるが有効活用がされていない。所有者の高齢化や移住が進み、耕作者が減っている。 バイパス建設やインターチェンジ建設が予定されているにも関わらず、土地の集約が進まず、雑草が生い茂る状態となっている。 福山方面と比較して土地の価値が低いので、ベッドタウンとして開発し移住者を増やすことが望ましい。 そのためには、多数存在する地主との交渉や、土地所有者が各地に散らばっている状況を解決する必要がある。 また、市民病院を移転し、跡地を宅地として売却することで財源を確保する。市民病院の移転は現在凍結されているが、病院跡地は一等地であり、売却益が見込める。 これらの問題解決には、長期的な視点に立った計画と実行力が必要である。市議会は、市長に対して財源確保の努力を促し、これらの政策を積極的に推進するべきである。 ⑧ 笠岡市では財政健全化事業の一環として事業の廃止が進められているが、歳入を増やすための対策が不足している。
--	---

	小学校や中学校の統合計画が進む中で、空き校舎の利用が課題となっている。 空き校舎の利用には、笠岡市が建物を解体して更地として売却するパターンと、建物を地域に貸し出すパターンが考えられる。しかし、解体には費用がかかり、貸出しには地域に建物を管理する人材が必要となる。地域によっては人材不足やリーダー不在のため、貸出しが難しい場合もある。 最終的には、空き校舎を地域で再利用することが望ましい。そのためには、地域で事業を担う人材の発掘と育成が重要となる。笠岡市では人づくり施策が廃止される方向にあるが、地域には意欲のある人材が潜在している。そのような人材を発掘し、育成する事業を行うべきである。 地域が主体的に事業を考え、行政に必要な支援を求める形が望ましい。空き校舎対策も含め、地域で必要なものを考え、行政に伝えることで、効率的な税金の使い方につながる。 ⑨ 地域の最小単位である町内会が４８個でも空き家が目立つ。交通の便が良い場所でも状況は厳しく、新しい家を建てる人もいるが、多くの土地では草木が生い茂る状況だ。太陽光発電所が増える一方で、市街化調整区域や農業振興地域での土地利用に関する検討が不足している。 笠岡市が土地利用について適切な指導や支援を行うべきだ。市長が財政状況の悪化を理由に様々な事業を中止しているが、市民病院の立替えなど必要な事業は継続すべきだ。 ⑩ 開業医の立場から、市民病院の移転問題について意見を述べる。 市民病院の移転を考える前に、現在の市民病院がどうなっているかに関心がある。先日訪問診療に行った際、改善すべき点がたくさんあると感じた。施設の混合や移転も重要だけど、まずはそこで働く医療職や非医療職を含めた人材育成が
--	---

	原点ではないかと考えている。人材育成を優先的に言い、その上で移転を視野に入れるべきだと思う。 ⑪ 笠岡市は、県外に出て行った若者がなかなか戻ってこないという問題を抱えている。魅力的なまちづくりができていないことが原因の一つだと考えられている。 駅中にあったセブンイレブンが移転し、現在その場所が空き店舗になっていることも、まちの暗いイメージにつながっているのではないかと懸念される。魅力的なまちづくりをするための良い方法があれば知りたい。 ⑫ 金浦地区の住民と中学生に行ったアンケート調査によると、5割から6割が住み続けたいという意向を示しており、金浦地区は必ずしも住民が離れたがる地域ではないという結果が出た。 ⑬ 笠岡市を元気にするためには、できることから一つずつ実行していく必要がある。投資も必要であり、将来的に利益を生む投資にはお金を惜しむべきではない。 道の駅笠岡は、全国の道の駅の中で売上と集客で8位を獲得した実績がある。道の駅の大規模化案が保留になっているが、将来的に利益を生む可能性のある事業には投資すべきである。 地元の企業の協力を仰ぎ、道の駅をさらに活性化させるべきではないか。企業であれば、10年後、20年後の計画を立て、今何をすべきかを考える。笠岡市も、市長と市議会が協力して、将来を見据えた計画を立て、実行していくべきだ。バイパスの開通により、県外からの来訪者増加が見込まれるため、早急な対策が必要ではないか。 ⑭ 土地利用と施設の公募について、小中学校の廃校や統合に伴う施設の活用が課題となっている。番町地区では、ひまわ
--	--

	り認定こども園の跡地利用について長年議論してきたが、現在は凍結（白紙）状態となっている。地域住民は、公民館の不便さ解消のため、ひまわり認定こども園跡地の取得を目指していたが、計画が凍結されたため、地域活性化の機会を失うことを懸念している。 財政健全化の議論が８月から進んでいないことや、パブリックコメント後の修正案が市議会に報告されていないなど、市の対応が遅い。早急な対応を求める。 ⑮ 井幼稚園跡地利用計画が凍結されたことに不満を感じている。公民館の倉庫が老朽化し物品の保管場所に困っているため、幼稚園のプレハブを代替施設として利用したいと考えていたが、許可が下りなかった。公民館の協力員慰労会などの計画も立てていたが、幼稚園の本体施設が利用できなくなったため、火やアルコールが使用できず計画が頓挫した。花壇の草を焼いて肥料にすることも禁止されており、不便な状況が続いている。 ３月３１日まで施設利用ができないと聞いているが、このままではいつまで利用できるのか分からない。地域住民の間では施設利用を期待する声が高まっているが、状況が変わらないため住民の意欲が低下していることを懸念している。早期の対応を求める。 ⑯ 笠岡市について十分な知識がないため、以前住んでいた総社市や井原市との比較から笠岡市の印象を語る。笠岡市は南北に細長く、海や水田が広がる風景が魅力的だと感じている。笠岡市をどのような街にしたいのかというビジョンについて、市民がどのような街を望んでいるのかという視点が重要だ。 以前、娘が笠岡高校で笠岡市の将来について提言する授業を受けたことがあり、若い人の意見を吸い上げることが大切だと感じている。
--	---

市民も市長や議員に頼るだけでなく、自分たちにできることを考えるべきではないか。

- ⑰ 耕作放棄地の活用が進んでいない現状に不満を感じている。農地として復活させるのか、宅地や商業地として利用するのか、具体的な方向性を定める必要がある。民間の参入を阻害する行政の規制がないか確認する必要がある。

津波・高潮対策は、地盤かさ上げではなく護岸工事と堤防建設の方が費用対効果が高いのではないか。

笠岡駅周辺の開発は、南口だけを先行して整備してはどうか。

市営住宅は老朽化が進んでおり、不足する可能性がある。空き家を活用した住宅供給も検討すべきだが、個人の財産であるため、同意を得る必要がある。

地域ごとに課題が異なるため、地域に合わせた対策が必要であり、空き家問題だけでなく、商業用途に適した土地の整備も検討すべきだ。

財政状況が厳しいからといって全てを諦めるのではなく、知恵を絞ってできることを行うべきである。